

ミュージアム・コンサート

～ソプラノとチェンバロによる和洋の出会い

平成23年7月18日(月・祝) 午後2時～3時

会場：長岡市栃尾美術館エントランスホール
料金：当日の観覧券（一般400円 大高生200円 中学生以下無料）
申込不要・座席30席用意（先着順）

落谷虹児の「花嫁人形」、フォーレの「月の光」、サン＝サーンスの「死の舞踏」など、大正から昭和の日本の歌と19世紀末のパリの音楽を演奏します。
ソプラノとチェンバロによる和洋の調べをお楽しみください。

声楽家 ソプラノ・リリコ：柳本 幸子さん（やなもと さちこ）

東京音楽大学声楽科卒業後、パリへ渡る。その後イタリア、スペインを中心に7年間活動。イタリア・ベルカント唱法をO.di Credicoの下で学び、2000年オルヴィエート歌劇場オペラデビュー。ポローニャ舞台演技俳優養成学校Teatro del Navile 首席卒業。幾多の舞台公演で主演を務める。艶のあるメタリックな声種は深さと憂いを湛え《魂の歌》で聴衆を魅了する。

チェンバロ奏者：笠原 恒則さん（かさはら つねのり）

チェンバロを岡田龍之介・八百板正己の両氏に師事し、のちにパイプオルガンにも手を広げる。バロック室内楽の要となる通奏低音を活動の主軸とし、北陸を中心に各地で行われる種々の古楽公演を支えている。

長岡市栃尾美術館

長岡市上の原町 1-13 TEL:(0258)53-6300

<http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp/museum/index.html>